

# エアーラインキット

## AL-900

### 取扱説明書

OM-K0234

このたびは、エアーラインキット「AL-900」をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前に、取り扱い方法、使用上の注意等についてこの説明書をお読み頂き、正しい使用方法により、末永くご愛用下さいますようお願い申し上げます。

#### 特 徴

- (1) フィルターにより、圧縮空気中の水分、不純物を除去します。
- (2) レギュレーターにより、正確かつ安定した圧力を得ることができます。
- (3) ルブリケーターにより、圧縮空気中に潤滑油を霧状に浮遊させエアーモーター内に送り、潤滑を良くし寿命を大幅に伸ばすことができます。
- (4) フィルター内に溜まった水は、ワンタッチで排出できます。
- (5) 持ち運びしやすい取手付きです。



## 使用上の注意

- (1) 流体の種類について  
使用流体は圧縮空気を使用して下さい。使用可能な圧縮空気圧力は0.97 MPa ですが、0.6 MPa 以下で使用して下さい。
- (2) ドレンが多量な場合  
ドレンを多量に含んだ圧縮空気は、空気圧機器の作動不良の原因となります。  
エアードライヤー、ドレンキャッチをフィルターの前に取り付けて下さい。
- (3) ドレン抜き  
エアーフィルターのドレン抜きを忘れると、ドレンが2次側に流出して空気圧機器の作動不良を招きます。エアーフィルターなどのドレン抜きは定期的に行ってください。
- (4) 空気の種類について  
圧縮空気が化学薬品、有機溶剤を含有する合成油、塩分、腐食性ガス等を含むときは、破損や作動不良の原因となりますので、使用しないで下さい。
- (5) 腐食性ガス、化学薬品、海水、水、水蒸気の雰囲気または付着する場所では、使用しないで下さい。
- (6) 直射日光のあたる場所では、日光を遮断して下さい。
- (7) 振動または衝撃の起こる場所では使用しないで下さい。
- (8) 周囲に熱源があり、<sup>ふくしやねつ</sup>輻射熱を受ける場所では使用しないで下さい。
- (9) 圧縮空気は、取り扱いを誤ると危険です。空気圧機器を使用した機械・装置の組立てや操作、メンテナンスなどは、十分な知識と経験を持った人が行って下さい。

## 1. 仕様

|        |                                      |
|--------|--------------------------------------|
| 最高使用圧力 | 0.97 MPa (9.9 kg f/cm <sup>2</sup> ) |
| 保証耐圧力  | 1.5 MPa (15 kg f/cm <sup>2</sup> )   |
| 流体温度   | 5 ~ 65℃                              |

### エアーフィルター

|     |      |
|-----|------|
| ろ過度 | 5 μm |
|-----|------|

### レギュレータ

|        |                                                   |
|--------|---------------------------------------------------|
| 設定圧力範囲 | 0.04 ~ 0.85 MPa (0.4 ~ 8.5 kg f/cm <sup>2</sup> ) |
| リリース圧力 | 設計圧力 + 0.05 MPa (0.5 kg f/cm <sup>2</sup> )       |

### ルブリケーター

|        |                                                         |
|--------|---------------------------------------------------------|
| 使用油    | 昭和シェル オンジナオイル#15 または<br>タービン油 1 種、ISO VG32 (スピンドル油使用不可) |
| 貯油量    | 45 cc                                                   |
| 最小滴下流量 | 30 L/min                                                |

### ●オイルの種類

エアーモーターを使用するに当たり、ナカニシ純正オイルは、昭和シェルのオンジナオイル#15を使用しています。他メーカーの場合は下記の製品又は、同等品を使用して下さい。

エ ッ ソ : クリストール 72

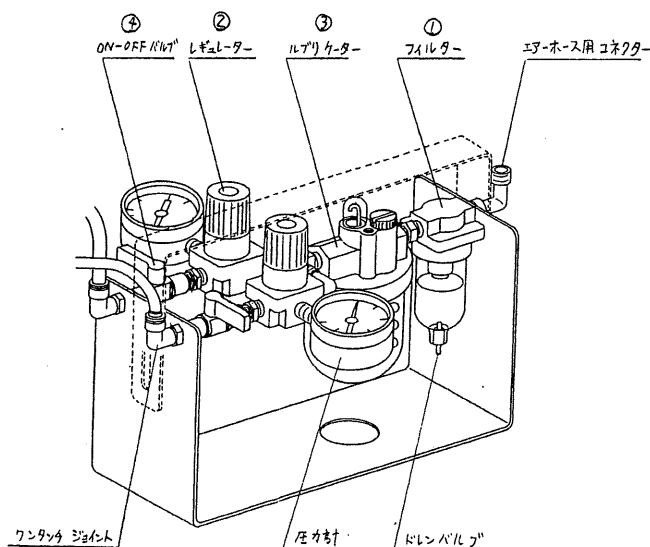
日本石油 : ハイホワイト 70

モービル石油 : ホワイトレックス 30

出 光 : ダフニーオイル CP15N

コスモ石油 : コスモホワイト P70

## 2. 各部の名称及び使用説明



①フィルター

圧縮空気中のダストや水分を分離し、分離されたドレンはプラスチックボール内部に溜まります。プラスチックボール内のドレンは、フィルター下部のドレンバルブを押し上げるにより、抜くことができます。

②レギュレーター

空気圧の調整は、レギュレーター上部の圧力調整用ツマミを引き上げ、時計方向に回すことにより設定圧力が高くなりますので、圧力計を見ながら調整して下さい。

③ルブリケーター

給油する時は、コンプレッサーからのエアーを止めて、加圧されていないことを確認してから、給油口蓋を反時計方向に回して蓋を外し、付属のオイル（シエル オンジナ オイル# 15）をオイルタンクのオイル上限まで入れて下さい。

④ON-OFFバルブ

レバーを回転させることにより、エアーの開閉ができます。

### 3. 取り付け方法

①エアーモーターの取り付けは、給気ホース接続金具（φ6）が取り付けられていることを確認してから、ジョイントに差し込んで下さい。

注意）AL-900には、φ6ホース用ワンタッチジョイントが付いています。

②フィルター部のエアーホース用コネクタにエアー配管用ホースを接続して下さい。

③コンプレッサーからエアーを送り、レギュレータでエアー圧力を0.3～0.6 MPaに合わせて下さい。

④ルブリケーターの給油量調整は、エアーモーターを回転させ、調整ねじを反時計方向に回し、一度全開にしてから調整ねじを時計方向に回し、サイドドームを見ながらオイルの点滴量を25～35滴／分に合わせて下さい。

油滴をボール内に落下させ、2 μm 以下の細かい油だけを圧縮空気中に混入させ、空気圧機器へ供給します。OUT 側への供給量は、1 滴の油量（約0.02 cm<sup>3</sup>）の3%です。



**危険** ①ホースの接続は確実に行って下さい。

使用中ホースが外れると、ホースが暴れて大変危険です。

②エアー配管用ホース常用使用圧力は、1 MPa 以下となっていますので、コンプレッサーの作動力が1 MPa 以上の場合は危険です。

コンプレッサーの作動圧力が1 MPa 以下であることを確認してから接続して下さい。

#### 4. 点 検

##### ●オイル量

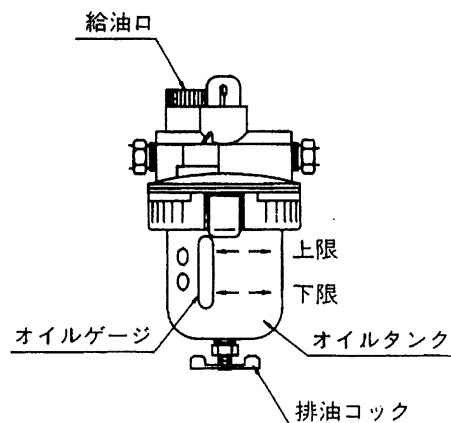
オイルゲージにより週に一度は油量をチェックし、オイルが少ない時はオイルゲージ上限までオイルを補充して下さい。

※オイルが多い時は抜いて下さい。

オイルが多いと給油量が調整できなくなり多量のオイルが供給され、故障の原因となります。



**注意** オイルの補充及び抜く時は、必ずコンプレッサーからのエアを止めてから行って下さい。

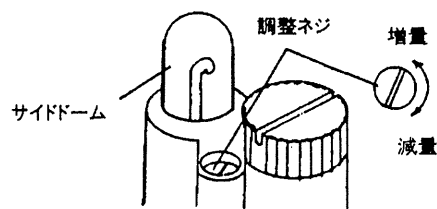


##### ●エアーフィルターの排水

エアーフィルターに水が溜まった時は、エアーフィルターの底の排水ボタンを指で押し上げて排水して下さい。

##### ●オイルの滴下量

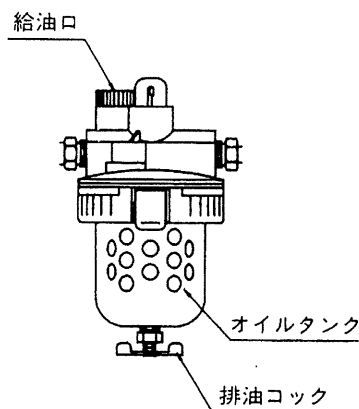
エアーツールを適正圧力で回転させ、適正滴下量に合わせて調整して下さい。左回しが増量で右回しが減量です。



##### ●オイルの抜き取り及び水抜き

オイルタンクの底の排油コックを反時計方向に回し、1ヶ月に1度オイルを抜いて下さい。

オイルタンクの中に水が溜まることがあり、故障の原因となります。新しいオイルと入れ換えて下さい。



※改良の為、仕様及び形状等は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

**NSK** 株式会社 ナカニシ

●本社・工場/〒322-8666 栃木県鹿沼市下日向700 ☎0289(64)3380 FAX0289(62)5636  
●東京事務所/〒110-0005東京都台東区上野1-13-3 MYビル6F ☎03(3835)2891 FAX03(3835)4332  
●大阪連絡所/☎06(6575)1134 (本社へ転送されます。)  
●名古屋連絡所/☎0584(81)0557 (本社へ転送されます。)

'01.07.005.④